



天上はるかに

秋高東京同窓会会報

# 2014年6月28日 秋田高校東京同窓会 総会・記念講演・懇親会

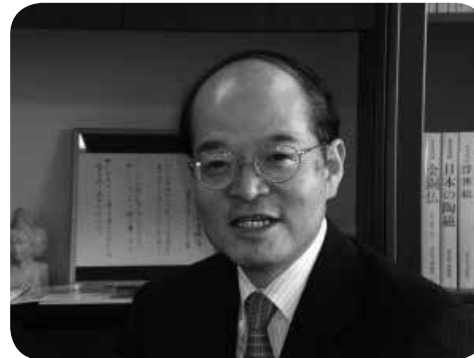
今年は秋田高校同窓会創立百年とか。  
 去年は秋田高校創立 140 年でした。

私達〈青春〉の、あの「天上はるかに」、  
 今また〈汝、何の為に其処に在り哉〉の  
 あの鈴木健次郎校長の言葉。

今年の総会、記念講演会 & 懇親会。  
 かたれ。ねまれ。け……。秋高 OB こ  
 こにありと。

記念講演は S43 年卒の銭谷眞美さん  
 (東京国立博物館館長、元文部科学省事務次官)  
 「私と秋高そして今、文化を考える」のテーマ。  
 大いに語ってもらいます。

各年次含め、多くの皆さん、はじめて  
 の方も参加、協力と呼びかけます。



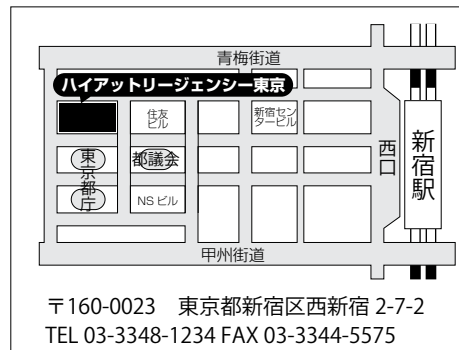
銭谷眞美さん

東京国立博物館館長、元文科省事務次官  
 1949年、秋田県生まれ。東北大学教育学部卒業  
 後、73年旧文部省に入省。初等中等教育局の小  
 学校教育課、中学校課、高等学校課で課長補佐  
 を務めたほか、教育助成局地方課教育行政企画  
 官、生涯学習局学習情報課長、初中局小学校課長、  
 体育局学校健康教育課長、同体育課長などを歴  
 任して「学校教育のエキスパート」に。その後も、  
 官房総務課長、官房審議官(初中局担当)、文化  
 庁次長、文部科学省事務次官など、重要なポスト  
 を担い、2009年より東京国立博物館館長

- ★ 2014年6月28日(土) 16時30分開会～
- ★ ハイアットリージェンシー東京(東京都庁横)
- ★ 記念講演 銭谷眞美(S43卒)  
『私と秋高そして今、文化を考える』
- ★ 懇親会

会費 8000円 当日会費 8500円

- ・ 総会 16時30分～
- ・ 講演会 17時～
- ・ 懇親会 18時～



橋本五郎の  
**AKITA  
 元気トーク**

秋高東京同窓会会長  
 橋本 五郎



## 秋田「国民文化祭」に協力を

マスコミの世界に長く身を置きながら、恥ずかしいことに「国民文化祭」というものが毎年どこかの県で開かれていることをまったく知らなかった。競技を競う「国民体育大会(国体)」とは違って、多くの国民に存在を知られることなく、まさにひっそりと、これまで28回も続いてきた。しかし、29回目が秋田開催となると、知らされなかったではすまされない。ということで、東京に住む人たちで全面協力しようということになった。

そのプレ興行として、西木正明さん原作の『ガモウ戦記』の芝居が、8月5日から、銀座博品館劇場で上演される。できるだけ多くの人に来てもらい、敗戦直後の秋田の風景を思い出してほしいと思う。脚本は内館牧子さんで、秋田にゆかりのある人たちによってつくられる芝居なのである。

『ガモウ戦記』上演の初日には、私と内館さんのトークショーも行われる。なんとか恥ずかしい結果にならないように頑張るつもりだが、国民文化祭の一助になるなら、こんな嬉しいことはない。国民文化祭は自分たちの足元の文化を再認識できる大事な機会である。自分に出来る範囲で出来るだけの協力したいと思っている。

10月4日の国民文化祭オープンの翌日、秋田高校の全国の同窓会が一同に会して交流会が開かれる。初めての試みである。そんな機会を与えてくれた国民文化祭に感謝しつつ、今から楽しみにしている。

# 1月25日 (アルカディア市谷) 賀詞交歓会盛大に



秋田高校東京同窓会の新春は1月25日アルカディア市谷で明けた。まず恒例の〈大学生と社会人の交流会〉学生20名余、各分野で活躍しているOBとの就職進路の交流風景。そして全体の賀詞交歓会。特別講演は「2014年新春漫才」宮田・昇さんの新春のお笑いでこの2014年も明るくと。続いて新春交歓会、90名余、年次毎の交流や学生、先輩OBとの大懇親交流が行われ、ラストは校歌〈天上はるかに〉で散会となった。

\*

**浜田浩二 H16卒**

私自身、就職活動への思い入れがあり、この思いがOB・OGの方々から一任を得て、今回も学生の支援に携わることができました。先ず、皆様には御礼をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。さて、今回の後輩の支援に関わり、感じたことが学生の支援の仕方に

違和感を覚えたことです。その理由としまして、年々、就職活動の情報が大量に増え、学生がどの情報が選べば良いか、不透明になりつつあると思ったからです。情報の多様性が学生の行動に変化を生み、私自身が前職・就職情報会社での時と一変したことは事実です。

また、同じ大学(偏差値レベル)・系統学部(偏差値レベル)の学生でも、3年間首都圏で過ごした学生と地方で過ごした学生とでは、得られる情報に差があると感じました。

一昨年から今回のように、後輩の就職支援に携わり、今後も支援していきたい思いですが、今後はより一層、上述の現状を踏まえながら1人ひとりに見合った「個別支援」が必要であると感じています。そのために、私自身もマスコミの人間として、知見・教養・人間性どれも欠かさず磨き、成長し続けることが秋田高校東京同窓会内における介在価値と考えておりま



す。引き続き、今後もお願い申し上げます。ありがとうございました。



＊

### 松田京平 H03 卒

新春賀詞交歓会に出席するのは今年で9回目。私にとっては毎年1月に欠かせない大切な行事になっています。

4年前には講演する機会をいただいたこともあり、今ではすっかり顔なじみの方が増えました。年に一度、1年間の互いの幸せを祈念しながら、再会や出合いを喜びあう場です。

今年は現役の大学生とふれあった時間が印象的でした。私は新聞社に勤めているので、マスコミに興味があるか、就職を希望している学生が寄ってきてくれました。仕事の内容を簡単に説明し、これまでの記者人生をかいつまんで話したところ、熱心にメモを取りながら聞く学生もいました。

「多様化するメディアの中で新聞記者の役割とは何か」「記者としての考えと会社の方針や判断が違う場合はどう身を処しているのか」といった、具体的かつ本質をついた質

問が相次ぎました。就職に向けたアドバイスというよりは、学生たちとともに議論する感覚で話が弾みました。

先輩として助言できることは限られています。私が強調したのは「人生は他人との比較で語るべきものではない」ということでした。最近の就活は厳しいあまり、他人と比べて自分を省みようとして、ますます自分を見失っている学生が少なくないと感じていたからです。

翌日以降、話を聞いてくれた学生たちから、メールやはがきでお礼の便りが届きました。彼らの言葉は、丁寧な中にも、未来への希望と不安が入り交じり、活力がみなぎっていました。まだまだ20歳前後。彼らの人生は、まさにこれからです。



日々のニュースは暗く、不快な話題が多い中で、読者に何を伝え、何を訴えるべきなのか。毎日考えている私にとって、自分の原点を思い起こし、力をもらったような気がしました。

＊

### 加賀屋完成 H23 卒

まずは今回このような貴重な会に参加させていただいたことをこの場を借りて御礼申し上げます。今回会の開催のために尽力して下さった先輩方、誠にありがとうございました。

僕は就活生という立場で参加させていただいたのですが、就活だけでなくこの先の人生に関しても色々考えることができたと思います。どんな仕事があるのか、どんなこと



ができるのかということを開けただけでなく、その仕事を通してどんなことがしたいのか、どう人生を歩んでいくのかということまで先輩方との会話を通して垣間見ることができました。

テレビで拝見したことのある先輩から、サラリーマン生活を捨ててお笑い芸人になった先輩まで、本当に様々な生き方や物事の考え方というものに触れることができる経験はとても貴重なものでした。

また、先輩方だけでなく、秋田高校の同級生たちと再開することのできる場であるというのもこの会の醍醐味の一つであると思います。久しぶりに会う友人との会話を通して、お互いにいい意味で刺激し合

うことができ、僕も負けないように頑張らねばと身が引き締まる思いでした。

最後になりますが、今回この会に参加でき本当に良かったと思っています。とても充実した時間を送ることができました。

今後このような機会があれば積極的に参加し、先輩からしていただいたことを今度は後輩へと返していきけるように心がけていきます。



## 同期会だより

### 47 卒秋高会

鎌田進 S47 卒

平成 26 年 4 月 5 日 (土) シダックス六本木店に於いて 47 年卒の同期会が行われました。今年の参加者は女性 5 名男性 9 名の合計 14 名でした。47 年卒の同期会は今回で 3 回目になります。もっと多くの方に参加して頂きたいと思っておりますが中々皆さんの都合が合わないようで例年同様の人数でした。我ら 47 年卒は第一回の同期会の時に、名前を「47

卒秋高会」とし、毎年 4 月の第一土曜日に開催することを決めて行っています。還暦を過ぎたばかりでまだまだ皆さん何かしら職業についており「悠々自適」という人はまだいません。段々年を重ねる度に自由人が増えていくことと思います。その時はもっと参加者も増えるでしょう。

一人一人の自己紹介、というより現況を話して頂き和やかに会は進みました。中には半世紀に渡る思い出なども話す人もいて皆感心したり笑ったりで楽しく時間が過ぎていきました。乾杯の後はほとんど秋田高校で過ごした 3 年間の思い出話となり、

担任の先生の話や友人の話など忘れていたような出来事をお互いに話すことにより突然その時の状況を思い出したりして、自分でもびっくりすることが多くありました。皆さん本当によく秋田高校の時のことをよく覚えていました。特に我ら 47 年卒は制服自由化を成し遂げた年代なので思い出話も多くありました。

最後には校歌を声高らかに歌い、また来年の再会を期して六本木の夜にそれぞれ消えていきました。

\*

### 国会の裏方として

青山卯女 S58 卒

私が勤務する衆議院事務局は、(1) 会議運営部門、(2) 調査部門、(3) その他議員(院)活動の補佐部門の 3 つに大別され、各部局等が職務を担当しています。(1) 会議運営は、本会議や委員会での法案審議、国政調査において議長や委員長を補佐し、議事進行、資料作成、各党派・各省庁等との連絡調整を行います。(2) 調査業務は、委員会での議案審査や国政調査、予備的調査のほか議員からの依頼全般(施策の実施状況・法案説明、質疑資料の作成等)へ対応します。



また、憲法審査会事務局は憲法改正原案、憲法改正の発議または国民投票に関する法案等を審査するための総合的な調査を担います。(3) その他の議員(院)活動の補佐は多岐にわたりますが、①正副議長、委員長、議員の補佐、②議事速記、③議院警察、④事務局内の庶務管理や憲政記念館が行う議会政治資料の収集・展示等です。

このように我々の仕事は、国会の裏方、黒子などと言われ、国会議員の活動を様々な面から支えることが求められます。同じ公務員でも霞が関(行政)とは違った距離感と緊張感を持ち、常に中立であり、政局をよみ、秘密を厳守する中で、各議員との信頼関係が築かれていく

のです。国会の権能は言うまでもなく国民の代表者にありますが、国の政策を「法律」という「形」にしていく場所で、裏方であっても過程に係わり、あるいは支えているという自負が、事務局職員の動機づけではないでしょうか。

去年は、衆参の「ねじれ」が解消され、どのように政策が決定されていくかのプロセスは、むしろ今まで以上に重要になっていると感じます。僭越ですが、国会が国権の最高機関として主権者のためにいかなる道を探るべきかの原点を、立法府に携わるすべての者がこれからも胸中に銘記し、審議を進めていくことが何より重要だと考えます。



# 進藤孝生 新日鐵住金(株)社長( S43年卒、ラグビー部 ) インタビュー

4月から社長に就任した進藤孝生・新日鐵住金株式会社代表取締役役にインタビューしました（鎌田進・武内暁）

## ◆秋高生活、一番の思い出、座右の銘は？

やはり当時の鈴木健次郎校長の入学式での言葉〈汝、何の為に其処に在り哉〉が一番印象に残ります。この根源的な問いは、学業とスポーツの両立を含めこれまでの人生の中でいつも心の中にありました。「自分が今行っていることは何のためなのか、誰のためなのか、ここにいてよいのか」という、常に目的や存在意義を自問させられる言葉でありました。秋高での生活ではラグビー部の生活、特に花園の全国大会に2年生と3年生のとき2回出場したことが一番の思い出です。

## ◆ラグビー選手、全国大会は経営活動に何を？

中学は野球部でした。高校では「一時間練習」、18時には練習が終わるということでラグビー部を選びました。18時に終わるということは学業もできると思ったからです。ラグビー部では個人の自立した練習方法が取り入れられており、15、6人しかいなかった部員でも2年と3年時に花園に出場することができました。

ラグビーというスポーツは、「for side, on side, no side」という言葉に表されるように、チームワークとフェアプレー、そしてジェントルマンシップを大切にします。たとえば、トライは結果であり、そこに至る過程には、全員のチームワーク、組織としての力が存在しています。経営においても、会社で外国資本



との提携や、経営統合などいろいろありましたが、組織としての力を大事にしながら、何のために我が社は存在するのか、やはり根源的な「汝、何の為に其処に在り哉」の問いに応えようとしてきました。

## ◆日本経済の行方と新日鐵住金の役割は？

アベノミクスによる経済政策の転換、円安、株高などデフレ脱却の過程にあります。一方で、日中・日韓関係、再生可能エネルギーや原発問題などを含むエネルギー政策などの問題もありますが、これからの鉄鋼を考えると環境は概ね良いと思います。日本経済は、輸出立国・投資立国の両方でグローバルに内外への存在感を高めていく必要があります。そのために新日鐵住金としても統合効果を追求して、日本経済の発展に貢献していきたいと思っています。

## ◆「秋田は」「国民文化祭」「若い後輩」に望むことは？

秋田は学力や基礎教育、自然、アジアとの関係といった、リソース資源をたくさん持っています。その組み合わせや戦略構築のため、県の役割に期待します。国際教養大学のモデル、農業の国際化や自然エネルギーの経済戦略などでたくさんの可能性があると感じています。もちろん「文化の秋田」にも期待しています。

若い後輩には、やはり自分の経験でもありますが、勉強と運動の両立をめざしてほしい。人間は知的活動だけでなく、精神・肉体の両方、知識、体力の健全な発達を目指して可能性に挑戦してほしい。そして、「汝、何の為に其処に在り哉」と問い続けてほしいと思います。



秋田県秋田市出身。秋田県立秋田高等学校を経て一橋大学経済学部卒業、ハーバード大学経営大学院修了（経営学修士）。高校・大学ではラグビー部でフォワードを担当し、高校では2年連続「花園」に出場し、ベスト4、ベスト8まで進出するとともに、生徒会長なども務め、大学でもラグビー部主将を務めた。

1973年、新日本製鐵に入社。経営企画部門や総務部門を長く歩み、2009年には代表取締役副社長に就任し、新日本製鐵と住友金属工業の合併により新日鐵住金が誕生した後は、製鉄所の組織統合なども担当し、2014年代表取締役社長に就任。

声

## 花園出場、33年ぶり、あの頃

伊藤博基 S52 卒

私が秋田高校のいびつな形をしたグラウンドで練習に明け暮れた昭和50年頃、同期は6人。

3年と1年がそれぞれ10人ちょっと。なんとか紅白戦ができるかどうかの人数。それでも、花園初出場しベスト4入りした昭和41年時の1年から3年まで合計16人よりは恵まれていたので、本気で4年ぶり5回目の花園出場を目指し猛練習に明け暮れていました。

なにしろ、人数が少ないから休めない。いや、休む隙間がない。サボれば目立つ。

ランパスで向こうまで走って行くと、今度はゴールがスタートになって休む間もなく、「いっけえ〜」で走る。

ドンドン（ゴール前の連続攻撃）も、スクラムも、誰かの後にやるなんていう順番がない。

常に練習の渦中にどっぷり。

それはもう、野球部の主将をして「ラグビー部に入らなくてよかった」と言わしめる程の練習でした。

つまり、少人数が練習の密度をいやおうなく上げ、結果、強化の秘訣に転じていたわけです。

また、上級下級の別なく仲がよかった（今も変わりません）。さらに監督もOBもコーチも、ほんとうにみな熱心でした。

「ああ、グラウンドに今日も来たかあ」と暗い感謝を覚えたのですが、「花園に出れば上位に行ける」と感じていればこそ、グラウンドに来てくれたんだと今はよ〜く判ります。

それにしても、出たかったなあ、花園。

「ノーサイド」がラグビー精神の真髄なのに、いまだに無念と悔しさが離れないのは、きっと、それほどまでに頑張った裏返し。だから33年ぶりの花園出場は、万感の思いでした。

現役のみなさん。どんな状況だって、チャンスはある。目指せ、日本一！ 野球部も期待してるよ。

## 秋田高校同窓会近畿支部より

近畿支部長 鈴木信 S42 卒

全国高等学校野球選手権の前身、第1回全国中等学校野球大会の応援の為、豊中球場に集まった同窓生有志の集まりが発展して、現在の秋田高校同窓会近畿支部が出来たと言われている。終戦前後一時途絶えたが、昭和24年再開され今日に至っている。

支部会員は、近畿2府4県の在住者で、現在は約300名からなっている。（同窓会名簿上）

定期の行事は、毎年秋（最近、11月第2土曜日固定）に開催される総会・懇親会である。会員約40名、来賓約10名（同窓会・学校関係者、近畿県人会・在阪高校同窓会関係者）の50名前後の出席で行われ、平成21年には、「戦後再開60周年記念総会」を催した。

つい最近までは、旧制秋田中学卒業の先輩が沢山出席されていたが、現在では、昭和20年卒の渡邊良宏さんが最高齢者出席者となっており、世代交代の傾向にある。

女性は、第1期卒業生の加藤伸子さん、豊田武子さん、増田悦子さんが常連として出席されているが、後に続く人の出席がないのが、寂しい限りである。女性卒業生が半数に近い現在、支部発展存続の為にもぜひ出席者を増やしたいと思っている。東京同窓会の若菜会の方々、近畿在住の若菜会員に近畿支部同窓会への参加を促していただければ幸いです。

総会では、毎回、会員による講演が行われており、講演者も、若い方の出席増加につながればと、前総会より40・50代のまさに第一線で活躍している現役の人をお願いしている。又、近畿地方在住の現役学生にも招待状を出し、毎回2、3名の現役学生の出席を得ている。もう一つの支部活動は、甲子園、花園の応援であるが、両社ともここ暫らくは、その機会がないのが残念である。「学校創立の節目節目の年は甲子園に出場」というジンクスも昨年は破れた。応援が同窓会活動参加の発端になった会員も多く正に会員増員の妙薬なのだが。野球応援に端を発した近畿支部を野球の応援で更に発展させて行きたいと思いつつ、いつも甲子園出場を念じている近畿支部である。



# 2014年は国民文化祭あきた 〈秋田へ！秋田を！〉



第29回 **国民文化祭・あきた2014**  
 平成26年 10月4日(土)～11月3日(月・祝)  
**首都圏・本番、今年は**  
 この□□□事業をみんなしてえご参加・ご協力を！

**I “カウント 60 日前” 2014 国民文化祭あきた首都圏まつり**  
 8/5(火)～8/10(日)銀座博品館劇場・1日2回公演の6日間

秋田の原風景 (90分) (文藝春秋社刊「文春文庫」)

## 『ガモウ戦記』 チケット代 6000円

西木正明原作・プロデュース / 内館牧子 脚本予定 標準語字幕スーパー予定  
 (ガモウ戦記製作委員会主管)

第一部 国文祭オール秋田登場(10コマ)(案) (30分)

- イ) 「なまはげ郷神楽」&「西馬音内踊り」
- ロ) 山谷初男「秋田首領」&秋田のあのタレントの文化話
- ハ) 対談「内館牧子と橋本五郎が秋田文化を」
- ニ) 岩崎雅典 & 中村征夫の映像と自然
- ホ) 佐々木愛 & あの人や
- ヘ) 倉田よしみ & 矢口高雄
- イ)～ヘ)の10コマ組み合わせ予定



主催 『ガモウ戦記』製作委員会  
 共催 秋田県  
 後援 国民文化祭あきた首都圏応援団  
 □事業の実行委員長・プロデュース：  
 銭谷眞美国立博物館館長

**II 10月4日(土) 国民文化祭開会式にそして各地に首都圏から参加しよう**  
 各会、ふるさと会、同窓会、グループいろんな方法で

「大人の休日」切符や「JRパック商品」も使い、10月4日(土)12時15分秋田駅集合。まとまって開会式へ。また、①県人会連合会コース ②同窓会コース ③けやき会コース ④男鹿コース ⑤由利島海コース ⑥阿仁・県北コース ⑦横手・県南コースのそれぞれのプランも用意しています。『秋田を旅する・多くの人と』

\*事業内容は一部予定、変更の場合もあります。ご了承ください。

### 国民文化祭あきた首都圏応援団

国民文化祭あきた首都圏応援団  
 首都圏秋田県人会連合会、在京秋田県高校同窓会連合会、首都圏秋田懇話会、秋田を応援する首都圏文化会議、秋田ふるさと応援団、首都圏秋田応援団、WE LOVE AKITA、ゼロダテアートセンター東京、秋田魂心会、「あきたのかお」、和装美女連、トラ男、秋田「さねはね会」、わか杉会、おる秋田・東京ふるさと館、秋田市東京事務所、秋田県東京事務所

連絡先 県人会連合会 / 相模 (090-4820-8223)、同窓会連合会 / 小野 (090-6566-7936)、秋田文化会議 / 武内 (090-2173-2591)

文化の国体、震災後初の東北開催。秋田の「文化」を再発見、担う人々の“ええじゃないか文化運動を”全国から秋田を、秋田へ！ 参加PRを！

### I 国民文化祭あきた記念秋田高校同窓会全国支部交流会開催〈10月4～6日〉

本部同窓会は、東京同窓会の呼びかけに応え、全国39支部(県内24、県外9、職域6)の全国支部交流会を企画、準備しています。

10/4 国民文化祭の開会式に首都圏から300名に合わせ

10/5 秋田ビューホテルでの全国交流会、10/6の母校訪問など。首都圏からも20名以上の参加を、と今から準備参加願います。

### II 左記チラシの8/5～10までの“60日前カウント” 2014国民文化祭あきた首都圏まつり

銀座博品館劇場へ。第1部オール秋田、橋本会長、岩崎雅典、内館牧子、山谷初男、知事も。第2部は『ガモウ戦記』(西木正明原作)公演。チケット協力を。



銀座パレード後、国文祭成功を願い氣勢を上げる県出身者たち＝昨年12月7日、東京・日比谷野外音楽堂

東京では昨年12月7日、国民文化祭の本県開催をPRする「銀座パレード」が行われた。首都圏の県出身者ら約3千人が都心を行進。発起人の一人で仙北市出身の作家、西木正明さん(78)はパレード後、「国文祭まで10カ月。このとあることに催しを行い、秋田開催を促めよう」と訴えた。本県から駆け付けたい人たちにも、パレードは刺激になった様子。あきた観光レジャーの西里愛香さん(29)「秋田市は、秋田の国文祭は、東日本大震災後の東北では初めて。文化の力で東北を盛り上げる上で、首都圏在住の県出身者が応援してくれるのは心強い」と話した。(高野正巳)

25年度

## 会費納入者一覧

(平成25年11月1日～平成26年3月31日現在)

昭和11年 小田部精一  
 昭和9年 多奈部礼次郎  
 昭和17年 園部 俊雄  
 昭和18年 小原 肃  
 昭和20年 本間 省  
 昭和22年 金沢 祐吉  
 昭和25年 荒井 献  
 昭和28年 小畑 次郎  
 昭和30年 佐藤 敬幸  
 昭和30年 鈴木 妙子  
 昭和30年 薄田 耕二  
 昭和30年 高橋 捷郎  
 昭和31年 中村 啓一  
 昭和32年 一関 英男  
 昭和33年 大平 温  
 昭和33年 佐々木貞吉  
 昭和33年 千葉 胤道  
 昭和34年 岩崎 牧子  
 昭和36年 伊藤 則昭  
 昭和36年 岩堀 泰雄  
 昭和36年 柏木 征彦  
 昭和36年 菅原 勉  
 昭和36年 富樫 練三  
 昭和36年 西野 義久  
 昭和37年 柴田 捷司  
 昭和37年 寺門 広輝  
 昭和38年 佐々木博章  
 昭和38年 山方 三郎  
 昭和38年 湯澤 邦彦  
 昭和39年 天野 洋右  
 昭和39年 植村 誉子  
 昭和40年 進藤 謙也  
 昭和40年 中西 祥子  
 昭和41年 佐藤 和夫  
 昭和42年 工藤 潤一

昭和42年 田村 信次  
 昭和42年 那波 一寿  
 昭和42年 宮腰 亮泊  
 昭和43年 伊藤 進  
 昭和43年 銭谷 真美  
 昭和43年 田村 慶則  
 昭和43年 豊田 成昭  
 昭和44年 老松 秀明  
 昭和44年 前田 俊子  
 昭和49年 石田 二郎  
 昭和51年 谷口 一徳  
 昭和52年 山岡 長英  
 昭和55年 山口 宣子  
 昭和57年 藁谷 宏  
 昭和58年 阿部 充  
 昭和58年 石井 浩郎  
 昭和59年 菅原 晃  
 昭和59年 渡部 博

## 会費納入のお願い

本会の運営は、会員の皆さんからの会費によって支えられております。毎年度の会費の納入をよろしくお願い致します。このページには本年度の会費納入者を掲載しております。会費が未納の方は、是非本会報に郵便振込用紙を同封いたしましたので、年会費3,000円のお振込みをお願いいたします。今年度会費納入済みの方に、重複して振込用紙が同封されている場合は、申し訳ありませんが、破棄してください。郵便局の口座記号番号は次のとおりです。

00150-0-353596  
 「秋田高校東京同窓会」

## 秋高連だより

4月19日、アルカディア市谷で26年度秋高連(あきこうれん)総会、交流会が33校92名の代議員など出席のもと行われた。来年は秋高連結成30周年を迎える。結成目的の「垣根を越えて、親睦と秋田県との連携を」と、新会長岸本六蔵(秋田商)さんが挨拶した。

今年は国民文化祭参加や秋田と首都圏を結び各校のブロック別や部会活動などに秋高連の本領を発揮してほしいもの。秋高からは副幹事長の武内暁、顧問の大野省治が選任された。(武)

## けやき会だより

秋田市内高校同窓会と新屋郷土会からなるけやき会は、2014年度のスタートをきりました。新会長は奥山恍(秋工)さん。国民文化祭開会式は独自にけやき会コースや、例年の浅草竿灯まつり(5/31～6/1)、ゴルフコンペ(9/10)、市政情報交換会(11/2予定)、高尾山ハイキング(12/上旬)などの計画です。皆さんの参加ご協力を。(武)

## 秋田ふるさと応援団

各校の垣根を越えて、全国大会出場校を応援しようと発足した秋田ふるさと応援団。行くところ横断幕と黒のえぐどお! Tシャツ、それに秋田マーク帽子そしてなまはげの軍団。もちろん応援後の熱き乾杯は、一気に青春時代に……。秋高は春の武道館全国柔道選抜大会に長田治親君(男子90kg2回戦高松商に一本勝ち)、櫻庭あさひさん(女子無差別1回戦敗退)が出場しました。さあ、甲子園、花園も待ってるよ。がんばれ(武)

## 秋田本部同窓会事務局日誌

今まで事務局長代行でしたが、4月から事務局長を依頼されました。引き続き、よろしく願いいたします。

昨年度は140周年記念事業へのご協力ありがとうございました。おかげさまで、成功裡に終えることができ感謝申し上げます。

309名の母校卒業生が新入会員として同窓会の仲間に加わりました。半分以上が東京方面の大学に進学です。様々な面で面倒をみてくださるようよろしくお願い申し上げます。

昨年度2回目の運営委員会・理事会にて、豊口会長は今期で辞任する旨を表明しました。それを受け、会長選考委員会が設けられ、候補者が決定しました。今月28日の理事会に諮り、総会において決定される予定です。

総会は、6月15日で、案内は5月8日発行の「同窓会だより」に掲載されます・記念講演は、東京同窓会でお馴染みの宮田陽・昇の陽さんこと齊藤敬氏(昭62卒)で、演題は、「寄席芸人の生態」です。秋田での講演は初めてですので、皆楽しみにしています。(昇さんは来ません。ちょっと残念)

また、「同窓会だより」は年2回発行されており、次号は5月8日予定です。この号からオールカラーとなります。だよりは、3年契約の入札をしております。今回がその更新の時期で、落札業者からの提案で、現行より安い価格でカラー化可能ということで踏み切ったものです。デザインも一新しますのでご期待ください。

本部事務局長 佐藤英明 S46卒

## 幹事長だより

消費税が5%から8%になりました。もう皆さんは慣れましたでしょうか。税金の重みが段々身に染みて感じられるようになってきました。景気が上向いていくことを期待しています。秋田も長い冬が終わり春真っ盛りでございます。今年国民文化祭が秋田で10月より開かれます。ますます秋田の良さを全国に知って頂く良い機会です。東京からも応援したいと思っています。皆さんも是非多くの方に秋田の良さをPRして頂きたいと思っております。

さて、今年の秋田高校東京同窓会の総会では東京国立博物館館長の銭谷眞美さん(S43卒)をお迎えして講演して頂きます。素晴らしいお話をお聞きできます。一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。

幹事長 鎌田進 S47卒